

ひしもいた 議会だより



蒟蒻大黒天祭
(諏訪神社境内)



下仁田町議会
ホームページ
QRコード

発行：群馬県下仁田町議会



下仁田町公認キャラクター
「にゃくっち」



謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

日頃より町議会に対して、ご理解とご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年6月の定例会より議場内の録画配信を始めたところ、多くの方に視聴をいただいております。議会に関心を持つてのご視聴をお願いいたします。

秋の改選より、定数は10名となりましたが「安全と安心な町づくり」に向け、円滑な議会運営、活動が出来るよう尽力いたします。より一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され平常時に戻りつつありますが、収束しておりません。引き続き感染予防に徹していただきたい。コロナに負けず、ストレスを溜めず「健康第一」本年が皆様にとって希望の年になりますようご祈念申し上げて年頭の挨拶といたします。

下仁田町議会議長

佐藤 博



後列

小井土 光弘
社会経済常任委員会
委員

佐々木 信也
総務常任委員会
委員

大手 博幸
社会経済常任委員会
副委員長

並木 一夫
総務常任委員会
副委員長

前列

木暮 弘元
副議長
社会経済常任委員会
委員

佐藤 博
議長
総務常任委員会
委員

堀口 博志
議会運営委員長
社会経済常任委員会
委員

千野 榮治
監査委員
総務常任委員会
委員

岩崎 正春
総務常任委員会
委員長

岡田 邦敏
社会経済常任委員会
委員長

令和6年能登半島地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。 下仁田町議会議員一同

11月臨時会の概要

▼30日 開会日

▼議案の上程・採決

- ・下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例
- ・下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例
- ・下仁田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

- ・下仁田町個人情報保護法施行条例
- ・下仁田町個人情報保護審査会条例

※いずれも全会一致で可決

- ・令和5年度下仁田町一般会計補正予算(第4号)、令和5年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、令和5年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第2号)、令和5年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)いずれも予

- ・陳情1件を社会経済常任委員会へ付託

12月定例会の概要

▼8日 開会日

- ・会期を19日までとする決定及び一般質問(3人)

▼11日 議案の上程・採決

- ・人権擁護委員候補者の推薦について

※全会一致で決定

- ・下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- ・下仁田町犯罪被害者等支援条例
- ・下仁田町浄化槽事業の設置等に関する条例

※いずれも全会一致で可決

- ・令和5年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)
- ※いずれも全会一致で可決
- ・陳情1件は趣旨採択

◆甘楽西部環境衛生施設組合議会

- ・令和5年第1回臨時会(10月25日開催)

- ・選挙第1号 議長選挙
- ・佐藤博議員を選出
- ・選挙第2号 副議長選挙
- ・相馬政之議員(南牧村)を選任

- ・第10号議案 監査委員選任同意
- ・小金澤秀喜議員(南牧村)選任同意

※いずれも全会一致で可決、同意

◆下仁田南牧

医療事務組合議会

- ・令和5年第1回臨時会(11月30日開催)

- ・下仁田南牧医療事務組合

議会の議員その他非常勤の職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

- ・下仁田南牧医療事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- ・下仁田南牧医療事務組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

- ・令和5年度下仁田南牧医療事務組合病院事業会計補正予算第2号

※いずれも全会一致で可決

◆富岡甘楽広域圏議会

- ・令和5年12月定例会(12月20日開催)

- ・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会副議長選挙について

※指名推薦

- ・令和4年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合一般会計歳入歳出決算の認定について

- ・令和4年度富岡甘楽広域

- ・市町村圏振興整備組合衛生管理センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- ・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合職員の給与、勤務時間その他の勤務条件及び服務に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

- ・令和5・6年度消防本部・富岡消防署外構工事請負契約について

※いずれも全会一致で可決

審議結果は9ページをご覧ください。

歳入歳出それぞれ1億5,306万円の増額を可決

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

主に物価高騰対応重点支援事業等

■主な歳入

(単位：万円)

事業名	主な内容	補正額
保育所運営費補助金	国1/2、県1/4	979
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	定額	8,756
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	国10/10	1,155
林業作業道総合整備事業補助金	県2/3	200
特用林産物生産活力アップ事業補助金	県1/2	163
県議会議員選挙費委託金	県10/10	▲488
財政調整基金繰入金		1,439
後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金返還金	過年度分	3,163

■主な歳出

(単位：万円)

事務事業名等	補正の主な理由	補正額
下仁田町応援商品券・燃料券交付事業	商品券取扱業務委託料他	6,647
低所得者世帯価格高騰緊急支援給付金(追加分)	低所得者世帯	7,190
戸籍法改正に伴う改修業務委託費		528
戸籍附票システム改修費		275
社会保障・税番号制度システム整備改修費	総務省分	352
県議会議員選挙費	無投票による	▲488
町議会議員選挙費	無投票による	▲1,133
介護保険特別会計繰出金		140
保育所運営費	委託費法人分	1,306
定期接種・個別接種病院委託料、県内相互乗入委託料		▲186
老朽空家除却費補助金	除却空家増による	70
地区水道補助	補修費補助	98
林業作業道建設補助金	追加採択による	215
特用林産物生産活力アップ事業補助金	追加採択による	200
地域経済活性化アドバイザー業務委託料	同業務を産業開発しもにたで実施	▲560
吉崎団地改修工事	資材高騰等	220
旧小坂小学校解体工事設計業務委託	R6工事実施予定	500
馬山多目的集会施設備品設備	テーブル、イス等	209
財政調整基金積立金	基金の取り崩し	▲1,956

(万円未満切り捨て)

予算決算特別委員会

問 新型コロナウイルス感染症対策費の下仁田町応援商品券・燃料券交付事業は各世帯に交付すると議案全協での説明だったが、同一住所で世帯分離してある場合2世帯であれば2世帯分ということなのか。

答 同一住所で世帯分離されていれば各々の世帯となりますので、各々の世帯ごとに交付することとなります。

問 低所得者世帯価格高騰緊急支援給付金について年内給付は可能か。

答 年内中の給付は難しいと思います。早くても1月中、もしくは2月に入ってしまうかもしれませんが、できる限り速やかに給付をしていきたいと思えます。

問 商品券・燃料券の発送の時期は。

答 商品券・燃料券交付事業についても、すぐに準備・作業を開始しても年内中の発送は難しいと考えます。

問 町議会議員選挙費について説明を。

答 選挙について、すでに執行されましたので残額を減額するものです。無投票となり選挙公営負担金のうち、遊説車の借上げなど支出が少なかったことで減額となりました。

問 もう少し、詳しい内訳はどのようになっているか。

答 主なところでは、自動車への借上げで4,192千円計上していましたが72千円の支出、選挙運動用ポスターで5,266千円計上していましたが、3,528千円の支出、選挙運動用はがき、選挙運動用ピラについても支出が少額であったため、486千円の減額補正となりました。

問 ポスター掲示場設置業務委託料が605千円減額となっているが説明を。

答 見積合わせにより、業者を選定し契約したため減額となりました。

問 選挙掲示場について、経費節減の観点から削減することはできるか。

答 投票所の数から、掲示場の数が決まっているため投票所の数を減らす検討と一緒に進めていく必要があります。



選挙ポスター掲示場

問 子育て世帯生活支援特別給付金の200千円についてお聞きしたい。

答 食費等の物価高騰に直面し、その影響を特に受ける低所得の子育て世帯

に対し、児童一人当たり一律50千円を支給する国庫補助による事業です。

問 環境衛生費の生活環境保全その他の委託料「空家調査図表作成委託」220千円の内容の説明を。

答 調査については秋の区長会で区長に調査の実施を依頼しています。区長や班長、組長が地域の空家を調べており現在結果を回収中です。

問 土木事務費の町道敷登記委託料について概要説明を。

答 町道には未登記のまま町道に認定されているものが点在しており、土地所有者から寄附の申込みがあつた場合に、町の負担で分筆及び所有権移転登記を実施させていただき、町道としての登記をしています。年度当初は、何件の寄附があるか想定できませんので、当初予算では例年500千円を計上しています。今年度は3件の寄附の続きが

あり、当初予算では不足することから、今回補正させていたいただきたいというものです。

問 公営住宅管理の吉崎団地改修工事について説明を。

答 今回の補正の増額については、当初見込んでいた設計金額から資材等の価格高騰、人件費の上昇に加え、令和5年度から経費の算出方法が変更となり工事費が増額となったものです。

問 工事内容は。

答 浴室の改修、段差解消、手摺りの設置、畳からフローリングへの変更等になります。

問 旧小坂小学校解体工事設計業務委託について今後の計画は。

答 今回の解体工事設計委託を基に、令和6年度当初予算に旧小坂小学校解体工事費等を計上し事業を進めたい計画で、令和6年10月頃までには解体工事を終了する予定です。

問 下仁田町小中
一貫教育について

答 令和7年4月に
開校したい

木暮弘元議員
一般質問
(YouTube)



木暮弘元 議員

議員 小・中学校一貫教育
について保護者説明会と
教職員説明会を実施した
ようだが、内容は。
教育課長 保護者向けの説
明会を7月21日（金）に
下仁田町文化ホールで開
催しました。併設型の小
中一貫校への移行を2年
間かけて準備し、令和7
年4月に開校したいと説
明しました。行事が共同
開催できることや、教職

員が兼務になっても仕事
量が増えることはないな
ど、教職員への不安や心
配を解消できるように説明
しました。
議員 町民への説明は実施
されたか。また、町民か
ら意見があったか。
教育課長 広報しもにたの
8月号から10月号まで3
回にわたり、説明記事を
掲載しました。町民の皆
様からの意見をいただく
場を紙面等で設けました
が、特段ご意見はありま
せんでした。
議員 南牧村が来年度に開
校する義務教育学校とは
どのように違うのか。
教育課長 義務教育学校が
9年間を一人の校長、一つ
の教職員組織によって、一
つの学校で教育を行うの
に対し併設型小中一貫校で



下仁田中学校

は小学校、中学校それぞ
れに校長や教職員組織が
あり、それぞれの学校が
連携して9年間の義務教
育を行うことが違います。
議員 群馬県内での実施状
況は。
教育課長 群馬県内では、
義務教育学校の方が多い
状況です。太田市、みど
り市、桐生市でそれぞれ
各1校ずつ義務教育学校
があります。また、南牧
村では令和6年度に開
校、川場村では令和7年
度に開校で、それぞれ各
1校ずつ準備をしていま
す。私立学校では、共愛
学園と群馬国際アカデ
ミーが一貫校です。併設
型小中一貫校は、藤岡市、

沼田市でも実践がありま
す。
議員 小学校、中学校の校
舎をそれぞれ使用すると
言うことだが、両校舎と
もに空き教室があるか。
また、空き教室の使い方
についてどのように考え
ているか。
教育課長 小学校、中学校
ともに建設当初より児童
生徒数が減少し、学級も
減りました。しかし、併
設型小中一貫校に移行し
た後、新たな空き教室が
生じることはありません。
議員 児童・生徒が減少
する中で、今後、空き教
室ができたならその空き教
室を利用して「高齢者と
小・中学生の交流」がで
きないか。また、児童が
高齢者と接することで
「優しい心が芽生えてく
る」のではないか。「い
じめや登校拒否、虐待、
自殺」などが減少すると
考えているか。
教育課長 少子化により、
児童・生徒が減少する中



下仁田小学校

で、空き教室が生じてき
ました。空き教室の利用
については、図書室のス
ペースを広げたり、学習
室として利用したり、放
課後子ども教室を開設す
るなど積極的に活用して
おります。ご提案頂きま
した「高齢者と小・中学
生の交流」についても関
係課とも協議しながら検
討していきたいと思いま
す。
議員 教育長からも答弁
を。
教育長 児童・生徒主体
の学習を充実させるため
に、施設を積極的に活用
していきます。

問 高齢者の施設利用で個人負担は

町が実施するイベントには発生しない

小井土光弘議員
一般質問
(YouTube)



議員 新型コロナウイルス感染症流行後の町の各施設の利用状況は。

教育課長 公民館を26団体、西牧分館を3団体が活用中です。

体育施設では小学校体育館を3団体、中学校体育館を9団体が活用中です。

議員 高齢者介護予防事業での施設利用で個人負担は。



小井土光弘 議員

は「いきいき健康教室」は毎月14会場で実施していましたが、現在健康運動指導士がいなかったため実

施出来ない状況です。新たな指導士を見つけ事業継続を検討している状況です。

問 上信電鉄の通学利用者は

令和4年度は年間約80名が利用

議員 上信電鉄の通学利用者は。

企画課長 令和4年度で年間約80名が利用しました。

議員 高校生への通学費用の補助、助成等は出来な

いか。

企画課長 昨今の物価高騰の折、家計を圧迫していると思われ、学びの場への助成の施策は必要と思われる。まちなかの活性化事業の基本計画を策定しており子育て支援強化で補助制度を拡充しました。入学祝金5万円を10万円に増額、育児支援金制度を創設し5歳まで毎年10万円を支援し補助制度を拡充しました。公

議員 通学定期補助の財源に敬老祝金の一部を充てるのはどうか。

下仁田町の未来を考えると、子供に予算を振り分けて少子化を少しでも食い止める。他市町村でも祝い金の縮小が見受けられます。敬老祝金の内容を見直す時期が来ているのでは。

福祉課長 他市町村の状況も調査し関係課で検討したい。



下仁田駅

問 町の水道事業の沿革は

答 昭和29年に国の認可を受けた



議員 町の水道事業の沿革、水道管の延長また、給水人口、年間配水量等は。

建設水道課長 町の水道事業は、昭和29年に国の事業認可を受け給水を開始しました。浄水場は17施設、配水施設が5箇所、加圧ポンプ施設が4箇所、水道管は合わせて総延長約110Km、給水人口は6,143人、給

大手博幸議員
一般質問
(YouTube)

水戸数は3,348戸、年間給水量は848,350立方です。

議員 町の水道設備の経過年数と耐用年数は。

建設水道課長 水道設備は60年、水道管は40年と定められております。樽下浄水場が建設から55年、宮畑浄水場が24年、西部浄水場が42年経過しております。水道管においても、耐用年数を経過している管は多く存在しています。

議員 水道施設等の老朽化・耐震化の状況は。

建設水道課長 施設については、40年から50年経過した施設が多く、老朽化も進んでいます。耐震化については、現在の耐震基準を満たす施設ではありません。



水道施設

議員 水道施設及び水道管の更新状況は。

建設水道課長 各施設において点検をし、状態を確認し、痛んだ箇所の修繕や、部品等の交換をしながら延命措置を図っています。

水道管の布設替えにおいては、作業効率や工費を考慮した上で、更新を進めています。

議員 今後の更新、また、費用についての計画は。

建設水道課長 料金収入を主とする財源だけでは資金不足が見込まれるため、国の補助金の活用や企業債、過疎債の借入れ、更には一般会計からの繰入れ等、資金確保の検討が必要であると考えます。

議員 財源確保について、一般財源からの補填の必要性について。

建設水道課長 安定した水道事業運営と、計画的な施設等の維持管理が進められるよう、一般会計からの、持続的かつ安定的な財政支援が必要と考えます。

問 公共施設の老朽化対策について
答 下仁田町公共施設等総合管理計画を策定した

議員 公共施設の老朽化対策の状況と保有数は。

総務課長 施設の管理運営を推進していくため、平成29年3月に「下仁田町公共施設等総合管理計画」を策定しました。町が保有する施設の数

議員 総合管理計画では老朽化した施設はいくつで、今後どのような計画となっているか。

総務課長 建築後30年以上経過した施設は42施設あります。大規模改修や耐震補強、建替による施設

議員 耐震化の状況はどうなっているか。

総務課長 耐震補強を実施していない施設が2施設、使用していない施設が9施設あり、その他地区集会所が5施設という状況です。

議員 避難所における耐震化は。

総務課長 町の指定避難所は14カ所ありますが、13施設については、新耐震基準により建築された施設か、耐震補強を実施した施設を利用しています。

審議結果

第3回臨時会（11月30日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。
（佐藤博議長を除く9人で採決を行いました。）

議案番号	議案名案	議員名	並木一夫	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	千野榮治	堀口博志	審議結果
65	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
66	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
67	下仁田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

12月定例会（8日～19日開催）

諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
68	下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	下仁田町犯罪被害者等支援条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
70	下仁田町浄化槽事業の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
71	令和5年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
72	令和5年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
73	令和5年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
74	令和5年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審査結果

受付番号	件名	申請者	審議結果
陳情第3号	国民のいのちと健康を守るため、医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦匠人	趣旨採択

行政視察

令和5年11月7・8日

長野県下伊那郡
売木村・阿智村・泰阜村



令和5年11月7日、8日の2日間にわたり、下仁田町議会議員10名全員と下仁田町職員参加のもと、長野県下伊那郡売木村、阿智村、泰阜村において行政視察を実施しました。研修内容としては、今後過疎地で課題となるガソリンスタンド閉鎖に伴う運営継続の取り組みについてと、有害鳥獣捕獲後の処理方法についてを主として視察をしました。

売木村

初日は、午前に売木村の【うるぎ600道の駅前PS（ポータブルステーション）】、【うるぎ自然休養村センター】で「自治体によるSS承継等に向けた

取り組み」について説明を受けました。説明者は売木村副村長と施設設置を請け負ったコモタ（株）の営業部マネージャー、事業開発部広域営業グループマネージャー、北関東支店長で、村議会議長も同席しました。説明では、村は村内唯一のガソリンスタンド閉鎖に伴い、住民有志による「ガソリンスタンドを残す会」を立ち上げて、運営は会が引き継ぎ、経済産業省の補助金を活用してコンテナ型地上タンクを設置し、ガソリンスタンドの運営継続をしているとのことでした。人口約600人、SS1軒公設民営・地上タンク設置、給油機1台（ハイオク・

レギュラー・軽油）人員2名にて営業

阿智村

午後からは【阿智村役場】で「ガソリンスタンドの運営継続事業の経過」について説明を受けました。説明者は阿智村総務課財政係長、阿智村議会産業建設委員長、そのはらエスエス（株）代表取締役でした。説明では、JAが所有するガソリンスタンドの閉鎖に際し、地元の地区住民が共同出資により株式会社を設立し、施設は村が譲渡を受け再開させたとのことでした。人口約6000人・SS5軒、智里西地区（人口275人）の民間SS閉鎖により近隣SSまで往復約30分となり、その後住民による株式会社化（資本金300万円・自治会200万円個人株主100名で100万円）村公費投資は地下タンク入れ替え1500万円の内700万円、750万円を撤退会社残りには会社借り入れ 給油機1台：役員5名（無報酬）アルバイト8名（地域

の方が仕事の間に2〜3時間のシフト）会社化後13年経過

※株主特典として1ℓ20円の割引等を行っている。

泰阜村

二日目は、午前8時30分から【泰阜村役場】、【給油所現地】で「ガソリンスタンドの運営継続事業の経過」について説明を受けました。説明者は役場では泰阜村総務課長、現地では一般社団法人振興センターやすおかの職員でした。説明ではJAのガソリンスタンドが閉鎖をするにあたり、「一般社団法人振興センターやすおか」を設立し、タンク更新費用2000万円を村とJAが折半し、事業継続を行ったとのことでした。

その後、午前10時30分から【泰阜村ジビエ加工施設『もみじや』】で「有害鳥獣の捕獲処理」について説明を受けました。説明者はそこで従事する地域おこし協力隊員でした。平成29年度に施設が竣工し、地元周辺で捕獲されたイノシシやシカを

食肉用に処理し、有効利用しているとのことでした。

人口約1500人・SS1軒、民間SS撤退が決まり施設存続へ「一般社団法人・振興センターやすおか」設立、出資金約400万円（5万円39名・1万円200名）村公費投資は地下タンク入れ替え2000万円の内1000万円残りは撤退企業1000万円、給油機1台人員1名、隣接施設にて日用品・薪等販売、灯油配達あり※「振興センターやすおか」職員38名 村内のバス運行委託等を請け負っている。

（泰阜村ジビエ加工施設）事業主体：泰阜村建物面積65・21㎡ 工事費3161万円県補助金（野生鳥獣害総合管理対策事業1141万円）管理運営「もみじや」へ委託 委託費192万円 水光熱費110万円取り扱い鳥獣二ホンジカ・ハクビシン・アナグマ ※イノシシは豚コレラの影響で受け入れ停止中

議員参加の行事報告

群馬県町村議会 議員研修会

令和5年11月2日(木)

吉岡町文化センター

研修会は「上智大学法学部教授」三浦まり氏による『地方議会における議会の目指すべき多様性とは』と「元NHK政治部記者・元NHK会長秘書」三浦元氏による『地域活性化とテレビ』の講演が行なわれ受講しました。

(全議員対象)



議会広報研修会

令和5年11月21日(火)

群馬県市町村会館

研修会は「議会広報サポーター」芳野政明氏による『議会の「見える化」&住民との「信頼関係」』と『議会広報の基本と編集』の講義が行なわれ研修しました。

(議会広報委員参加)



富岡甘楽地方議会議員 連絡協議会研修会

令和5年11月6日(月)

ヴァンヴェール

研修会は「株式会社環境評価機構代表取締役」片亀光氏による『地球温暖化(気候変動)の現状と地域脱炭素の取組について』の講演が行なわれ受講しました。

(全議員対象)



視察来庁

令和5年11月14日(火)

新潟県田上町議会

新潟県田上町議会(総務産経常任委員会委員7名)が来庁し、「下仁田葱二百年のブランドの秘訣について。」を議題に意見交換をした後、下仁田葱圃場の現地を見学しました。
(社会経済常任委員対応)



下仁田ねぎ祭り

令和5年11月23日(木)

こんにやく手作り
体験道場前広場

新型コロナウイルス感染症により開催を見合わせてきた下仁田ねぎ祭りが4年ぶりに開催され、多くの方が来場し、会場では各種イベントや多数の出店があり、盛況に催されました。

(全議員)



シリーズ 町の施設 ⑮ 馬山多目的グラウンド

馬山多目的グラウンドは、平成23年3月に完成して以来、これまで多くの方にご利用いただいています。

主に、野球の大会や練習の場として利用されています。また、県内外の高校野球部にもご利用いただくとがあります。

野球のほかにも、グラウンドゴルフ大会が開催されたり、グラウンドの周りをウォーキングする方がいたり子どもから高齢者まで幅広い方にご利用いただいています。



グラウンドゴルフ大会の様子



馬山多目的グラウンド

馬山多目的グラウンドは、スポーツ施設としての利用のほか、緊急時には、防災ヘリやドクターヘリのヘリポートとしても使用されています。

スポーツで汗を流してみませんか。皆様のご利用お待ちしております。

■問合せ先
下仁田町教育課
(教育委員会事務局内)

☎0274-82-2115

編集室から

昨年11月23日に4年ぶりに開催されたねぎ祭り。オープニングで祭りを盛り上げてくれたのは、2023年4月エストニア共和国（ロシアの西隣）にて開催された第34回世界伐木チャンピオンシップに日本代表5人のうちの一人として参加した下仁田町森林組合職員の横山大蔵さんでした。

林業技術「より安全で、より正確に、より早く」のパフォーマンスを披露してくれました。こうした大会は、林業がより高度で魅力ある職業へと認知されると期待を抱きました。

併せて、下仁田町森林組合の林業技術が世界に通じるものであると証明したことになります。誇りに思いました。

岩崎 正春



下仁田町森林組合職員の横山大蔵さん

訂正とお詫び

議会だより第103号（令和5年11月1日発行）の内容に誤りがありました。
決算質疑の7ページ4段目に「寄附金330万円を活用し、給食の無償化を実施」とあり、正しくは「寄附金1330万円を活用し、…」でした。
訂正してお詫び申し上げます。

次の定例会は3月です

議会本会議及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。

日程などのお問い合わせは

☎0274-64-8810

議会だより、会議録の他、下仁田町議会の情報は下仁田町ホームページよりお進み下さい。



<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

広報発行特別委員会

委員長 小井土光弘
副委員長 並木 一夫
委員 大手 博幸
佐々木 信也
岡田 邦敏
岩崎 正春
堀口 博志

編集／広報発行特別委員会
印刷／荒瀬印刷株式会社

二〇二四年 冬号
(第104号)

群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田六八二番地
発行／下仁田町議会議員 佐藤 博

☎0274-64-8810